

根津若丈 ねつぎ 俳人。明治七年十一月十七日長野縣生れ、昭和四十二年一月十七日歿（八七歳一六六）。本名九市。別號からむ庵、抱虚庵（二世）、青林等。伊那町町會議員などを務めた。俳句の初の馬場凌冬公師事、のち伊藤松亭に就き、その主宰誌『ひびく』同人となる。昭和五年俳誌『草上』、戦後と數誌の同人を経て、晩年『山楨』を創刊主宰。多く進句を作り、その數二千卷といふ。

著書『山一重』（中村竹邨合著、昭和六年十月十五日雄風社）、俳句集『此五年』（昭和二十四年十一月一日長野・圓熟社）、進句集『一路』（根津若丈米寿記念集刊行会編、昭和二十六年五月十日甲陽書房）等。『若の日記』（根津若丈の二回記念選集）（昭和四十五年九月十日信州大学進句会・東京都心進句会・松代俳句連盟編刊）がある。